

私の履歴書

釜本 邦茂

⑤

当にそのとおりだった。

1961年の高2の夏にはデットマール・クラマーさんとの遭遇という衝撃的な出来事もあった。3年後の東京五輪強化のために西ドイツ（当時）から招かれたクラマーさんが関西の指導者、選手向けに1週間の講習会を京都で開いた。そこに山城高の二村昭雄、長岡義一両先輩とともに

のころ身長は177センチあったが、動きがスローな私にクラマーさんは「ホッカイドウ、クマ、ヒルネ」と情け容赦ない言葉を浴びせた。

クラマーさんは私に忠告した。「南米の選手はパスを受けて1で前を向ける。欧州の選手は1、2。なのに君は1、2、3もかかっている。どうやったら速く前を向けるか。それができるようになったら一級品になれるだろう。クマだっていざという時は素早く鋭く動く」

高校2年、3年と連続してユースの日本代表に選ばれたが、本当は1年の時にも選出されていた。岡野俊一郎監督が私の将来性を買った。唯一の1年生として選出してくれたのだ。岡野さんの前にユース代表監督を務め、自分も日本代表選手だった大阪毎日新聞の記者、岩谷俊夫さんから「京都に面白い子がおる」と聞かされていたらしい。

費用の自己負担が我が家では重荷だったからだ。父の申し出を聞いた山城高の村山康裕監督は「部の方針で1年生は代表に出さない」と日本サッカー協会に返事して悪者役を

そんなやり取りを見ながら某大学の監督が「図体がでか

を説いた人。1週間の講習もボールコントロール中心に精度を絶えず要求された。

クラマーさん

高2、高3の時も金銭的に苦しいのは同じ。アジアユースに参加できたのは高校や地域が募金してくれたおかげだった。私も奉加帳を持ってあちこち歩き回った。最初に訪ねた店で「ウチよりも大店のあそこにもずいぶん大きい。大きな金額を書いてもらって後に続く人の財布も緩む」といわれた。助言に従ったら本

引き受けてくれた。高2、高3の時も金銭的に苦しいのは同じ。アジアユースに参加できたのは高校や地域が募金をしてくれたおかげだった。私も奉加帳を持ってあちこち歩き回った。最初に訪ねた店で「ウチよりも大店のあそこにもずいぶん大きい。大きな金額を書いてもらって後に続く人の財布も緩む」といわれた。助言に従ったら本

特別参加を許されたのだ。高校生だった山城組はボールに空気を入れたり、ラインを引いたり雑用係と思っていた。しかし、クリニック（講習会）を企画した京都府サッカー協会の藤田静夫会長には別の思惑があったようだ。

クラマーさんが上手な模範演技を見せる時、相手役の前に引っぱりだされては「悪い見本」とこき下ろされた。そこ

クラマーさん（手前）と。奥で立っているのが筆者＝フット・モト提供



東京五輪の強化のために来られたクラマーさんにこういわれ、初めて五輪を具体的にイメージできた。映像の乏しい時代、56年メルボルン、60年ローマの両五輪はぼんやりとした記憶しかなかった。「クラマーさんのいうとおりのことができた俺でも五輪に出られるのかも」。闘志が身の内からふつふつと湧くを感じた。（日本サッカー協会顧問）

杉山隆一、横山謙三、小城得達、桑原栄之といった後にメキシコ五輪で銅メダルに輝く先輩たちと一緒に選ばれたのは名誉だったが、ここでは代表を辞退した。アジアユースが開かれるタイまでの遠征

高2、高3の時も金銭的に苦しいのは同じ。アジアユースに参加できたのは高校や地域が募金をしてくれたおかげだった。私も奉加帳を持ってあちこち歩き回った。最初に訪ねた店で「ウチよりも大店のあそこにもずいぶん大きい。大きな金額を書いてもらって後に続く人の財布も緩む」といわれた。助言に従ったら本

特別参加を許されたのだ。高校生だった山城組はボールに空気を入れたり、ラインを引いたり雑用係と思っていた。しかし、クリニック（講習会）を企画した京都府サッカー協会の藤田静夫会長には別の思惑があったようだ。

クラマーさんが上手な模範演技を見せる時、相手役の前に引っぱりだされては「悪い見本」とこき下ろされた。そこ

クラマーさん（手前）と。奥で立っているのが筆者＝フット・モト提供